

人のチカラと企業のチカラで未来へとつなげる。
佐伯市発の働く人々をご紹介します

未来をつなぐ、人と企業

Vol.
03



株式会社 サザンテック



動画はこちら。



【本社】佐伯市弥生大字井崎495番地2
☎28-5686 (fax 28-5685) <https://www.southtech.jp>
設立年月: 昭和56年10月
資本金: 1,000万円 売上高: 7億円 従業員数: 約60人

会社のここが好き

チームワークが良く、自然に支え合い協力できる体制が整っています。楽しさ、やりがい、働きやすさはどこにも負けません！休暇制度が充実しているので、プライベートも満喫しています。

技術本部
技術第2課 技師 兼 技術開発室 研究員
まつお あゆ
松尾 愛結さん(写真中央)

技術第1課 技師
みやざき さとこ
宮崎 聡子さん(写真右)

測量課 主任
まつかわ しょうた
松川 将大さん(写真左)



サザンテックは「地域の安全・安心」を守る総合建設コンサルタン。測量、地質調査、設計を通して道路や橋などの社会基盤の整備に尽力するとともに、災害復旧にも大きく貢献しています。「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強^{きょうじん}靱化したり、ハザードマップを作成し

※「Internet of Things」の略。インターネット経由の通信

「私たちが早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し

「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し

「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し

まちづくり、災害復旧のプロ集団

暮らしを支える影のヒーロー

「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し

「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し

「私たちは地域で災害が発生すると、いち早く現場に駆けつけます。地形の詳細を調べる測量は災害状況の把握や、復旧計画の第一歩なのです。一昨年6月に発生した津久見市街地での土砂崩れの際、ドローン測量を行いました」と代表取締役の児玉さん。南海トラフなどの大規模災害に備えてインフラを強靱化したり、ハザードマップを作成し